

寿楽苑だより

125号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 5年 9月 20日

夏祭りの締めは花火大会

8月18日、1階広場で夏祭りを開催しました。

会場では、金魚すくい、輪投げ、ボーリング、スイカ割り、花火など、入居者様がゲームと飲食等を、いろいろ楽しむことができます。

「ここで、ビール飲めるとは思わなんだ、最高やね」

「金魚、いっぱいすくったよ。見っしょい、この金魚、かわいらしいやろ」

「たこ焼きとアイス、おいしてお代わりしたよ」

「夏祭りに、また出られると思わなかったから、嬉しくて嬉しくて」



夏祭りの締めは、ベランダでの花火大会です。

まずは、打ち上げ花火からスタート。

「花火って、夜するもんやと思ってたけど、昼間見てもきれいなもんやね」

「こんな近いところで花火見たが、何年ぶりやろ」

「ちっちゃい花火やけど、ちゃんと音したぜ」

「夏、浴衣着て、家族で花火したが思い出すわ」

花火をご自分の部屋から見ていた入居者様は、点火されるたびに大きな歓声です。

入居者様の笑顔溢れる夏祭りとは花火大会は、大盛況のうちに幕を閉じました。

アイスクリームパーティ

8月8日、喜楽苑のひまわり広場で、アイスクリームパーティを行いました。

入居者様がアイスの盛り付けとトッピングに協力。トッピングは、生クリーム、チョコレート、フルーツ、イチゴマールなど。

盛り付けの終わったアイスクリームを、スプーンで口にしたら入居者様たちから声が上がります。

「このアイス、どこで買ってこっしょったが」

「えっ、ここで作ったって。それ本当け」

「見た目もきれやし、なんて、まいアイスクリーム」

それを耳にした職員、思わずにっこり笑顔に。





思い思いの夏祭り

7月27日、2週間前から準備していた夏祭りを盛り上げようと、この日は職員も気合が入ります。

ゲームは、射的、お菓子釣り、スイカ割りとカラオケ。縁日コーナーには、ジュースやノンアルコールビール。そして、たこ焼き、ベビーカステラなど準備は万端。

射的の前で銃を構え、段に並べてある的を目標けて、引き金に指をかけます。

「射的やるが何十年ぶりやから、当たるか」

「子供の頃にかえて、やりゃあいいがいぜ」



お菓子釣りでは、釣った袋をその場でもらえます。

「こいでかいと、もろてもいいが」

「持ちきれんほど釣ったがいね。あんた、すごいわ」

ゲームの後は、おいしい飲み物と食べ物の時間。

「こりゃ目移りして、どれにしよか迷ってしまうぜ」

「祭りやったら、やっぱり冷えたビールやろ」

「私、ぜんざい。甘いが好きやから」

広場にカラオケで自慢の歌声が響くなど、入居者様は、思い思いの夏祭りを楽しんでいました。

デイサービス



運動会

9月4日から9月9日迄の5日間、デイサービス広場で運動会を開催しました。

開会式では、紅白2組に分かれた利用者様の代表が、紙を見ながら声を揃えて選手宣誓です。

準備体操を終え、応援合戦に移り赤組と白組双方の利用者様が「ファイトだガッツだ」と大きな声で。

玉入れ競争では、職員の引っ張る動くカゴに狙いを定め、持った玉を投げ入れますが。

「あっ。もう、ちょっこしやったがに、残念」



座ったまま徒競走は、床へ敷いたシートの上にペットボトルを置き、倒さないようにシートを片足で引っ張る競技です。

「倒れるから、いっぺんでなく、やわやわせんと」

「教えてもろたがに、慌てたさかい倒れてしもたわ」

パン取り競争で、職員が指定した番号の袋を取り「やったあ」と、両手を上げて大喜びの利用者様も。

その後、競技で取ったパンを「なんて、おいしいあんばんなが」と言いながら召し上がっていました。



百歳お祝い会

7月21日、コミュニティルームで中谷よし子様のお百歳お祝い会を開催しました。

ご本人は、1週間ほど前から職員に「どうすら、いかるか」「なに話せばいいか、ここに書いてよ」などと、少々不安な様子。当日は、いづらか緊張されていたようですが、式典はスムーズに。その後、特注品のケーキを、ご家族様と一緒に召上がりながら懇談です。

広場へ戻ると、「みなさん、ありがとう」と、普段通り優しい笑顔の中谷様でした。



夏祭りで歌謡ショー



8月28日、夏祭りを行いました。中央通路では、入居様が楽しみにしていた歌謡ショーです。

「まつり」の曲を皮きりに、スコップ三味線や赤い着物、黒いドレス、セーラー服、ピンクの羽根をなびかせた歌手等が、その喉やバチさばきなどを披露。

「高校3年生」の曲が流れると、入居様がマイクを握って、一緒に歌い出す場面も。

「今日は、歌いっぱい聞かせてもらって、良かった」

「おいしいもんも飲んだし食べたし、いい日やったわ」

行 事 等

2階小ホールで夏祭り

7月26日、2階小ホールで、夏祭りを行いました。揃いのTシャツを着た職員が「かついで、かついで」などの掛け声で、炭坑節の踊りから開始です。

屋台では、みたらし団子、水ようかん、ジュース、ノンアルコールビールなどが盛りだくさん。そして、ゲームは、魚釣りと輪投げが楽しめます。

「みたらし団子、おいそうやね。一つもらえっけ」

「なら、久しぶりに、ビール飲ませてもらおうかね」

「今日のまつり、賑やかして、いいわ」



夏祭りで金魚すくい



8月7日から、デイサービスで夏祭りを開催。この日の夏祭りでは、利用者様が二人ずつ、金魚すくいゲームに挑戦です。

金魚は、大きな赤い紙製と、ペットボトルのフタを利用した2種類。それを、30秒間で、どれだけ多くすくえるかを競うもの。

「こいでかい金魚、すくえるか」

「そんなこというて、上手にすくっとらっちゃんねけ」

「見られ。あのっさん、なにほどとったが。すごいね」

まごころ善意

令和 5年 7月18日～令和 5年 9月17日
(順不同・敬称略)

寄付物品

- ・松岡 佐和子
- ・小路 正三
- ・入善町保育士会
- ・上島 茂義
- ・遠藤 絹代
- ・若林 由紀子
- ・西川 静穂
- ・匿名



ボランティア

- ・入善町婦人ボランティア連絡協議会

7月21日、入善町婦人ボランティア連絡協議会(松平とみ子会長)の会員35人が、舟見寿楽苑の車イス清掃活動を行っていただきました。

暑いなか、車イスの清掃、ありがとうございました。



夏祭り



新入職員紹介



9月1日付け、舟見寿楽苑で看護師として勤務することになりました、石崎夕起子です。

長年、病院の慢性医療病棟に勤務し、老年看護に携わってきました。

マスクは離せませんが、マスクの下も朗らかに、を心掛けます。特養勤務は初めてで、職場の雰囲気慣れ一日も早く皆様のお役に立てるよう頑張りますので、ご指導の程宜しくお願い致します。

赤トンボ

ひばり野苑の広場に、大きな赤トンボが飛び交っています。職員手作りの壁飾りで、色紙を折るなどして作ったもの。



落ち葉は赤や茶色に染まり、入居者様が前へ立ち止まって、「ここは、もうすっかり秋やね」。

編集後記

夕方、散歩の途中スマホのベルが鳴って出ると、送った物が届いたと知人からお礼の電話です。用件が済んで電話を切った途端に連れが、「どうして、用件だけで電話を済ませるの。こんど一緒に、どこかへ行きたいですね、なんて余計でも言えば会話はつながるでしょう。職場の電話じゃないんだから」。

その時、出かけた先で会った人のことを思い出し、私が「そういえば、あそこへ行った時、声をかけてくれた黒い女性があったが、忘れんわ」。「そうそう。初めてで心細かったけど、あの笑顔と声でどれだけ救われた気がしたか」と連れ。そして、「この先、もし逆の立場のことがあったら、私たちから声をかけてあげんとね」。

口に出さないと、水一杯も手に入らない社会。だけど、どう声をかけていいか、分からないことがあるのも事実。もし、困ったような人を見かけた時は、余計なお世話を承知で「どうされましたか」と尋ねるのも。